



## 育ちゆく 花実の森 ③

### 秋の里山楽しもうよ

花実（はなみ）の森の楽しみのひとつに“里山の秋の散策”があります。常緑樹の繁茂を制限し落葉広葉樹を残してきた里山の姿は、春の“芽吹き”の緑から、夏の“成長期”の深緑を経て秋の“紅葉”へと移っていきます。きびしかったこの夏の陽射しも、里山の中ではいつも快適な木陰の中で過ごすことができました。その空間では、この夏もさぞ多様な生きものたちがその恩恵を授かったに違いありません。地中の多くの生きもの、地表の草花、木々の間を飛び交う蝶や小鳥たちも敏感に感じ取っていたことでしょう。

この里山の木々の営みも、秋を迎え光合成の働きを担ってきた葉も、気温の低下と共に衰えはじめ、紅葉から落葉へと進みます。この間、

赤や黄に染まった葉の間には柿・栗・どんぐりなどの実を付け、里山の恵みとして我々におすそわけをしてくれます。



きびしかった夏の陽射しから、やわらかな陽射しに変わった里山に踏み込んで、秋の景観を五感で楽しんでみてください。拾ったどんぐりでお気に入りのかわいいペンダントや置き物が作れますよ。

（花実の森プロジェクト

菅田忠志＝生11・須磨区会）

写真＝8月7日、花実の森でUD学習会が開かれた



### “花実の森”でUD教室

緑の風が涼しい花実の森で8月7日、しあわせの村主催の『夏休み子どもUD教室』が開かれ、3年生～6年生の子どもたち54人が、里山体験学習をしました。講師は「花実の森プロジェクト」メンバー。6班に分かれ、木々を観察しながら急な斜面の階段やロープ道を散策。小枝や木の葉を集めて持ち帰り、これを使って箱庭づくり、木の名札づくりを楽しみました。できあがった箱庭はホテル館ロビーに展示され、来客の家族連れが、興味深そうに見ていました。この日の学習は、花実プロジェクトがこれから始める小学校3年生を対象とし

た『自然環境体験学習』のノウハウ蓄積にも役立つ内容となりました。（花実の森プロジェクト 菅田忠志）＝写真は本館ロビーに展示された子供の箱庭

### 『地域交流と文化の祭典』

#### 10月20日に開催

シルバー世代と子供たちがパフォーマンスを楽しむ第3回『地域交流と文化の祭典』（文化部会主催）が10月20日（土）（10:00～15:30）、シルバーカレッジで開催されます。出演は文化部会12グループ、地域の児童は昨年より2つ増え、7グループ。勇壮な和太鼓の演奏（北区花山グループ）でオープニング。キッズダンスや器楽、三味線グループが次々と熱い演奏を繰り広げます。〈わ〉のサークルからも銭太鼓グループなどが出演。子供たちとのコラボ演奏を披露します。

ロビーでは同窓会と絵手紙グループが作品を展示。軽食（サンドウィッチ、パン）の販売もします。地域の友人、知人を誘って、ぜひ、お越しください。問い合わせは文化部会・小林精一（078-741-6007）まで。